

「市長への手紙」HP掲載データ（平成29年6月分）

見出し	2906-02 国道での飛び石の被害について
ご意見	<p>自宅から朝7時台に国道45号を通勤しています。通勤時の飛び石の被害がこの1年間で5回あり、あまりにも多すぎるので手紙を書きます。5回とも全て、大型ダンプとすれちがった際のものでした。毎朝ダンプと35～45台すれちがっています。</p> <p>三陸沿岸道路の標示をつけているダンプや岩手ナンバー、八戸ナンバーのダンプなど台数がかなり多くなっています。</p> <p>何か対策などはないでしょうか？また、ダンプの台数が減る予定などないでしょうか？</p>
回答	<p>ご提言いただきました飛び石被害についてでございますが、国道45号の該当区間の管理につきましては三陸国道事務所久慈出張所で行っており、2日に1回の巡回を実施し、石片を含め落下物回収等の対応を行っていると同っております。</p> <p>当該路線につきましては、三陸沿岸道路をはじめとする復興関連工事車両が多数通行しており、今しばらく、通行量は減らないものと考えております。</p> <p>市といたしましては、復旧復興関連車両について、国や県等の発注機関と連携し、施工業者へ改めて注意喚起を行う等さらなる落下物防止の徹底に努めます。</p>
担当課	土木課 電話：52-2124